

片瀬地区自治会・町内会一覧

新屋敷ブロック

1. 片瀬弥生会 (430)
2. 新屋敷親睦会 (354)
3. 新屋敷第一町内会 (504)
4. 三部会 (101)
5. 新屋敷第二町内会 (620)

*カッコ内は加入世帯数
(2025年4月1日時点)

片瀬山ブロック

6. 片瀬山1丁目自治会 (259)
7. 片瀬山2丁目自治会 (250)
8. 片瀬山3丁目自治会 (441)
9. 片瀬山4丁目自治会 (286)
10. 片瀬山5丁目自治会 (289)

西ブロック

15. 西方町内会 (453)
16. 西の原会 (230)
17. 御行町内会 (458)
18. 西浜町内会 (950)

東ブロック

11. 東り町東会 (231)
12. 片瀬目白山町内会 (88)
13. 片瀬中央平和会 (71)
14. 片瀬三和会 (215)

五町ブロック

19. 下の谷本町町内会 (178)
20. 竜の口町内会 (320)
21. スバナ通り町内会 (631)
22. 片瀬海岸2丁目町内会 (520)
23. 湘南グリーンハイツ自治会 (105)

江の島ブロック

24. 江の島東町町内会 (94)
25. 江の島西町町内会 (50)
26. 江の島弁天会 (34)



会長あいさつ
片瀬地区自治連は今年度も、最重要課題である防災に取り組んでいます。7月26日には地域住民の長年の要望であった津波避難タワーが西浜地区に完成し、7月30日のカムチャッカ半島沖地震では約170人が避難先として利用しています。また去る9月16日には、湘南海上保安署に依頼し、巡視船に乗船しての研修会を実施しました。これは自治連の防災に関する事業で、地震発生の際、海からの物資調達などの救援活動について、実際に基づいた話を伺いました。この土地だからこその期待できる「海からの救援」ですが、受け入れられる我々の側の体制も整えていく必要があります。今年度は戦後80年。日本の津々浦々にある自治会町内会は戦後の混乱の中、地域の安全に寄与してきた地域の組織です。全国的に加入世帯減少の傾向がありますが、守り継いできた伝統行事も残しながら、住民のつながりが固いこの片瀬地区自治連会長として、地域の安全と暮らしやすさを守っていききたいと思っています。

片瀬地区自治連内会連絡協議会
会長 畠山 義昭



《 令和7年度 総会報告 》

令和7年5月26日(月)に開催され、令和6年度の事業報告及び収支決算報告、令和7年度事業計画及び収支予算などが審議され、すべて承認されました。令和6年度は、役員会を7回開催し延べ38人、定例会を3回開催し延べ58人、編集会議を3回開催し延べ23人が参加しました。

片瀬地区26自治町内会の会長等で組織する団体として、情報共有、意見交換、相互の交流など、各事業を通じて自治町内会及び各地域団体との連携を深めていくことを確認しました。

◆今年度の自治連役員 <ブロック代表者>

会長 畠山 義昭 【江の島】 副会長 中島 尚之 【東】
副会長 馬場 英人 【西】 会計 河東 勇 【新屋敷】
監事 長坂 美喜雄 【五町】 監事 松本 総一郎 【片瀬山】

片瀬地区 自治会・町内会長等一覧

私たちと共により良い片瀬地区を作っていきましょう！

1. 片瀬弥生会 平沼 幸彦	2. 新屋敷親睦会 青山 貴史	3. 新屋敷第一町内会 来栖 正夫	4. 三部会 河東 勇	5. 新屋敷第二町内会 田中 康友	6. 片瀬山1丁目自治会 ス波 明日香	7. 片瀬山2丁目自治会 大西 大	8. 片瀬山3丁目自治会 飛田 慎一	9. 片瀬山4丁目自治会 佐野 裕美子	10. 片瀬山5丁目自治会 水本 雅夫
11. 片瀬山自治会協議会 松本 総一郎	12. 東り町東会 佐野 真紀	13. 片瀬目白山町内会 小山田 幸雄	14. 片瀬中央平和会 鈴木 潔	15. 片瀬三和会 中島 尚之	16. 西方町内会 渡辺 弘	17. 西の原会 風間 等			
18. 御行町内会 中島 英二	19. 西浜町内会 馬場 英人	20. 下の谷本町町内会 長坂 美喜雄	21. 竜の口町内会 鈴木 義孝	22. スバナ通り町内会 依藤 光雄	23. 片瀬海岸2丁目町内会 西東 昌宏	24. 湘南グリーンハイツ自治会 酒井 康成	25. 江の島東町町内会 畠山 義昭	26. 江の島西町町内会 堀江 茂雄	27. 江の島弁天会 渡辺 英雄

かたせNOW 【今、旬な話題 江の島トンボロ】

下の谷本町町内会
会長 長坂 美喜雄

「トンボロ」って知ってますか。「トンボロ」はイタリア語で「陸繋砂州（りくけいさす）」と呼ばれる、干潮時に陸と沖の島が繋がる現象を意味する。フランスの世界遺産「モン・サン・ミッシェル」や国内では江の島の他、静岡県西伊豆町の「三四郎島」でも見られるそうです。なかでも江の島が有名で江戸時代、江の島詣に向かう人々が「トンボロ」を歩いて渡る様子が浮世絵に多数残されており、藤沢市民会館大ホールの緞帳で見られた方もいると思います。

下の谷本町町内会では、「江の島へトンボロで渡ろう」を企画し、藤沢市観光協会発表の「トンボロ」の出現日時、潮位を参考に何度か下見を重ね、去る6月14日（土）小雨のなか決行しました。片瀬江の島観光案内所前に集合し、参加者8名で、片瀬東浜から江の島にかけて湾曲した、長さ約300メートル、幅10～30メートルの「海の道」を観光客と一緒に渡りました。干潮時刻の午後0時51分、潮位約5センチ、一部「水たまり」の状態のところを、ある者は長靴で、ある者はズボンの裾をまくり裸足になりながら、貴重な「海の散歩」を楽しんだ後、新設されたばかりの階段を上り、江の島北緑地に上陸しました。

江の島島内では、当町内会の副会長で元江の島・藤沢ガイドクラブの鈴木健之氏の説明を受けながら、1964年東京オリンピックと東京2020オリンピックのヨット会場内に建立された記念モニュメントやヨットハウス内に展示されているオリンピックメモリアルを見学しました。当時の聖火台の場所や「トンボロ」が江の島大橋の西側に出現していたことなどの説明があり、一同認識を新たにして、大変有意義な一日となりました。



自治会・町内会紹介 (17)

片瀬中央平和会 会長 鈴木 潔

片瀬中央平和会は、片瀬市民センター付近及び本蓮寺付近のエリアで世帯数71、片瀬地区の中でも小さな町内会です。小さいですが、独自の行事として毎年5月末に『炊き出し訓練』を行っています。これは災害時の訓練とともに、町内の親睦を図ることを目的としています。今年も6月1日、町内の防災倉庫がある緑の広場で、防災備品の確認やテント・炊事場所等の設営を行い、備蓄しているアルファ米を用いてカレーライスを作りました。日曜日でしたので30名近く参加者があり、備品の運び出しや設置、調理を手際よく行うことができました。年1回ですが、災害時に備えた有意義な行事と考え、今後も続けていく予定です。

当町内会ではコロナ以前には『炊き出し訓練』のほか会員の親睦を目的として『日帰りバス旅行』や『餅つき大会』を行っていました。

しかし、高齢の方がなかなか参加できない、つき立ての餅を手早く丸めることのできる人が高齢になった等により現在中止しています。市の環境美化や防災に関するイベントにおいても、高齢の人にとっては会場への移動が困難であり、これが参加者の減少につながっています。現在、この高齢化が世帯数の少なさと結びついて、役員や運営の担い手の不足が生じています。町内会としては、これをどのようにクリアするかが課題となっています。幸い近隣同士のつながりがまだまだ強く残っている町内会です。一人暮らしの高齢者にもやさしく住みやすい環境、防犯活動・防災訓練を通じた安全な地域を、この顔の見える住民組織によってしっかりと守っていききたいと思っています。

片瀬海岸3丁目

津波避難タワー完成

西浜町内会 会長 馬場 英人

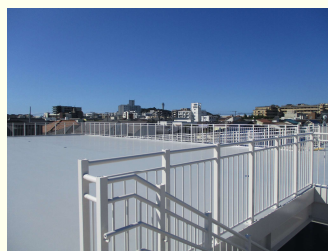
7月26日遂に開所式を迎えました。長い間避難困難地域であった地域にブロッコ住民730人すべてが避難できる施設が完成し、住民の安心を受けることができ感謝しています。屋上に733人、中間階238人、備蓄倉庫、多目的トイレを備えた1000人対応の施設です。

市長、市議会議員長、市議参列のもと開所式が行われ、その後内覧会を行いました。今後、住民のために災害に備えるための啓発、訓練などについてしていきます。

津波避難施設の当初計画から10年以上かかりましたが、住民に安心をもって生活していただけたと思います。



【 開所式の様子 】



【 屋上の様子 】



【 建物の外観 】

【自治連だより編集委員】

畠山 義昭 (江の島)	中島 尚之 (東)
馬場 英人 (西)	河東 勇 (新屋敷)
長坂 美喜雄 (五町)	松本 総一郎 (片瀬山)
若林 直美 (東)	